

会議名	麻布地区地域情報紙「ザ・AZABU」編集業務委託 第2回事業候補者選考委員会
開催日時	令和8年2月13日（金曜日）午前10時から午前11時まで
開催場所	麻布地区総合支所3階第2会議室
委員	麻布地区総合支所長 太田 貴二（委員長） 麻布地区総合支所管理課長 鳥居 誠之（副委員長） 企画経営部区長室長 富永 純（委員） 麻布地区総合支所まちづくり課長 江川 智美（委員） 麻布地区総合支所区民課長 川口 薫（委員）
事務局	麻布地区総合支所協働推進課
会議次第	1 開会 2 第1回選考委員会議事録について 3 第一次選考結果について 4 第二次選考について
配付資料	資料1 第1回選考委員会議事録（案） 資料2 第一次審査集計結果 資料3-1 第3回選考委員会スケジュール 資料3-2 第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料3-3 採点基準表（第二次審査） 参考資料1 麻布地区地域情報紙「ザ・AZABU」編集業務委託事業候補者募集要項 参考資料2 麻布地区地域情報紙「ザ・AZABU」編集業務委託事業候補者選考基準
会議の内容	
（発言者） 委員長	1 開会 （開会の挨拶）
委員長 一同	2 第1回選考委員会議事録について 第1回選考委員会議事録について、意見はあるか。 ない。
事務局 委員長	3 第一次選考結果について 資料2について説明。（集計結果 A事業者 588点） 第一次審査のボーダーラインは超えているが、そのうえで各委員から講評をお願いしたい。
A委員	企画提案書の様式6について、麻布地区の街並み、人、自然など様々な角度から細かく、コンテンツを提案されており、地域密着型で非常に良いが、表紙の人が密集しているところが現実性とかけ離れており、改善の余地はある

	<p>と感じた。</p> <p>様式7の人物像及びそれに対する提案・アドバイス内容についてだが、聞き出した経験やスキルをどう活かすかが提案書からは読み取りにくく、事業者側の誘導を強く感じる。人物の特徴や特技を十分に活かしきれていないのではないか。</p> <p>様式8については、統括責任者の役割や具体的に何を担うのかの説明が不足していると感じた。また、ディレクターのみが経験者であることから、今後のサポート体制に不安が残る。</p> <p>様式9想定スケジュールでは、中間チェックが記載されているものの、各段階で何を実施するのかが不明確であった。また、タイトル案や本文の目安文字数、配置写真のレイアウトはA事業者で作成となっているが、編集委員の意見はどのように反映されるのかが、企画書の中だけでは不明だった。</p> <p>さらに、人材育成・サポート力の評価に関し、取材初心者への対応が電話やメールのみとなっている点について、一緒に同行した方が適切ではないかとの意見が述べられた。同行しないのであれば、自主性を重視しているのかなど、その方針が読み取れなかった。</p>
B委員	<p>企画力に関する提案は新規コンテンツを含め魅力的であり、特に様式6の定点日記やAzabu美jouは、日常で見過ごしやすい対象に着目しており、独自性があり、非常に良かった。</p> <p>様式7については、人物像の例示がもっとあるとより分かりやすかった。また、経験や関心を引き出す手法としてアイスブレイクを挙げている点は良いが、他の方法にも触れられているとさらに良かった。</p> <p>様式8の配置計画では、安全対策や個人情報保護についての具体的記載があると望ましい。</p> <p>様式9のスケジュールについては、編集委員が無理なく原稿を執筆できるよう、具体的なサポート内容を知りたい。</p> <p>また、様式10に関しては、編集委員全体へのセミナーが記載されているが、個別のサポートがさらに充実されると良い。</p>
C委員	<p>企画力を高く評価した。抽象的な記述ではなく、各ページの内容が具体的かつ詳細に示されており、全体像をイメージしやすいことから、実現可能性が高いと感じた。</p> <p>一方で、様式7の「ファミリーアウトドア」など一部の表現については、現時点では具体的な内容のイメージがつきにくく、提案の趣旨が十分把握できなかったため、質疑の場で詳しい説明を聞きたい。</p>

D委員	<p>企画力については、既存コンテンツの活用提案や昼夜の写真を併置した企画など地域資源を適切に生かした内容となっている。また、紙面構成については、写真を多く使用しメリハリがあり高評価をした。</p> <p>一方、実現性および人材育成・サポート体制については、編集委員約20名に対し2名体制で十分に支援できるか懸念される。また、年3号の発行において、1号ごとのスケジュールは提示されていたものの、年間を通した全体スケジュールの提案があると良かった。</p>
委員長	<p>実現可能性に疑問が生じる記載も見受けられたが、企画段階であることを踏まえれば許容範囲と感じた。</p> <p>一方で、区民である編集委員が主体となり、地域に根ざした紙面作りを行う点に特徴があることから、編集委員を適切に支援し育成する体制が重要である。その観点から、様式10の人材育成や、スケジュールの組み立てにおいて、未経験者である編集委員をどのようにサポートして進行管理するかといった記載がやや不足しており、懸念が残る。総合的には、現時点で事業者としての遂行能力は一定程度確認でき、全体評価としては概ね「普通」とし、企画力については一部高く評価した。</p> <p>各委員の意見を踏まえて、意見や点数の修正があるものはいるか。</p>
B委員	<p>様式10の人材育成サポートについて、他の委員の意見を踏まえ再考した結果、当初付与した評価が高すぎたと判断し、評価を「普通（3点）」に修正したい。</p>
委員長 一同	<p>承知した。他に修正したい者はいるか。</p> <p>変更なし。</p>
委員長 事務局 委員長	<p>では、修正箇所を踏まえ、事務局で再計算を。</p> <p>変更後は582点になる。</p> <p>基準点の60%を満たしているため、A事業者を二次審査に進める。</p>
委員長 事務局 委員長 B委員	<p>4 第二次選考について</p> <p>事務局から説明を。</p> <p>資料3について説明。</p> <p>質問等はあるか。</p> <p>第二次審査のプレゼンテーションの時間が10分となっているが、早く終わる可能性もある、質疑応答の時間を多く確保するため、10分以内にするのはどうだろうか。</p> <p>また、プレゼンテーションの際に参加人数が4名となっているが多いのではないか。</p>

事務局	指摘のとおり、プレゼンテーションの時間を10分以内とし、参加人数については4名だと多いため、2名もしくは3名に変更する。
委員長 一同	他に質問や意見はあるか。 なし。